

シリーズ

秘蔵写真

# 今は昔の林業

第35回

中部森林管理局総務課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともに紹介します。

## 「名古屋営林局庁舎」

中部森林管理局の前身組織の一つ「名古屋営林局」は戦後の昭和二十二年に誕生し、富山県・岐阜県・愛知県の国有林を管轄していました。名古屋営林局の最初の庁舎は戦前までの帝室林野局名古屋支局の庁舎(名古屋市東区泉一丁目)を利用しています。



明治31年からの建物を利用していた初代の名古屋営林局庁舎(昭和20年代の写真)

名古屋営林局の庁舎として最も長く使われたのは昭和三十二年に名古屋市中区三の丸に竣工した建物で、名古屋城、愛知県庁、名古屋市役所といった施設に近接する官庁街にありました。



「上下写真」昭和三十年代頃の名古屋営林局庁舎



良くも悪くも大都市部にある営林局庁舎ということで、市民の皆さんとの交流や、国有林の現場への出張時の苦勞などのエピソードがあったようです。



名古屋営林支局及び中部森林管理局名古屋分局として使われた最後の庁舎(平成5年の完成時)

平成五年には名古屋市熱田区の白鳥野木場敷地内に名古屋営林支局(昭和六十年に長野営林局と統合して支局化)の新庁舎が建てられますが、平成十一年には国有林野事業の再編により中部森林管理局名古屋分局となり、平成十六年には名古屋分局が廃止となったので、使われた期間が限られた庁舎となってしまったのが惜しまれます。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。

これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。

当サイトへは、コードを読み込んでください。

